

# 豊橋新城スマート IC(仮称)周辺地域振興策 新城市 庁内プロジェクトチーム 検討概要

※ 本検討概要については現在検討中のもので、事業実施が決定しているものではありません。  
令和5年度も引き続き検討を進めます。



## 現状課題

- ・市内及び八名地域の人口減少と少子高齢化
- ・農業従事者の減少及び耕作放棄地の増加
- ・八名地域に買い物や飲食できるお店が少ない
- ・働く場となる市内の企業団地に空きがない
- ・若者や子育て世代の楽しめる場所が少ない

## 地域振興策の目標

新城市の新たな玄関口として、産業・観光拠点を形成します



働く場の創出のため  
地域共生型の企業団地開発を提案



商業施設やスーパー  
銭湯を誘致し若者が  
集える場を提案



地元農産物の販売・  
飲食できる場と新た  
な加工品開発を提案



八名の自然を活かし  
たアクティビティ体  
験施設の誘致を提案



### ① 地域共生型の企業団地開発事業

- ① 企業団地に隣接または近接して公園を併設する。
- ② 進出企業には、地域貢献の一環として公園の維持管理をしていただくことを条件とする。
- ③ 公園は一般開放し、休日は地元農家による農産物等を直売する場所(マルシェ)として活用していただく。
- ④ 上記により、企業の地元貢献に繋がるとともに、地域と企業が連携した地域づくりが期待できる。



### ② 大型商業施設の誘致事業

- ① 商業施設のマーケティング調査を実施し、誘致の可能性や誘致にあたっての条件を確認する。誘致の条件として、商業施設の用地の確保や造成等を市が実施することも検討する。また、大型店舗に固執せずに中小規模の商業施設の誘致の可能性も検討する。
- ② 商業施設の誘致を実施し、誘致条件をクリアするための法手続きなど、必要に応じ市が事業を実施する。



### ③ スーパー銭湯の誘致または建設事業

- 【誘致事業の場合】  
マーケティング調査を実施し、誘致の可能性や誘致にあたっての条件を確認する。誘致の条件として用地の確保等を市が実施することも検討する。
- 【建設事業の場合】  
市が建設し、運営及び管理は民間事業者へ委託する形の事業となる。事業の採算性をライフサイクルコストまで見込んで事業実施の判断をする。



### ④ 農産物直売所建設事業

- ① 農産物直売及び観光案内の機能を備えた物販施設として市が建設し、運営及び管理は民間事業者へ委託する形の事業となる。
- ② 道の駅に近い機能を有する施設として、駐車場・トイレを設置する。飲食店の併設についても検討する
- ③ 市場調査を行い、事業効果に対する採算性を維持管理コストも含めて検討し、事業実施の判断を行う。



### ⑤ 古民家レストランの開設事業

- ① 古民家レストランの出店者について民間事業者や地域活動団体など、広く可能性を検討する。
- ② 候補地内において古民家レストランに相応しい空き家を選定する。地域内に相応しい空き家がない場合、空き家を古民家風に改築することも検討する。
- ③ 地元食材、奥三河の話題の食材などを用いたメニューを地元農家や地元小中学校や高校の生徒と共に考案するなど、知名度の向上を図る。



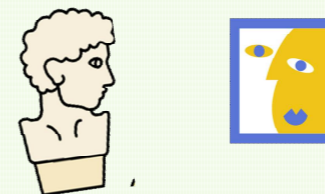
### ⑥ 地場産品の開発事業

- ① 新城市、特に八名地域の農産物を使った加工品等の開発を促進するため、一般にアイデアを公募し、採用案について賞金を出すこと等を検討する。
- ② 地元農家や地元小中学生や高校生と共同で、飲食店で提供する地元食材等を用いたメニューを開発するための補助事業を検討する。
- ③ 加工品のみでなく、八名のブランドデザインを一般に公募し、採用案について賞金を出すこと等を検討する。
- ④ 開発された八名のブランドデザインを用いた地場産品については、別事業で検討する物販施設で販売する。



### ⑦ 斬新なデザインのモニュメント設置事業

- ① 著名なデザイナーや芸術家に依頼して、市及び八名地域の広告塔として斬新なデザインの建築物やモニュメント(看板も含む)の設置を検討する。
- ② 場合によっては、公募によりデザインを募集することも視野に入れる。
- ③ 設置場所は、他事業の用地内に併設する。



### ⑧ 五葉の森レジャー整備事業

- ① 五葉の森周辺(大原調整池周辺地域)を対象として、自然を活かしたアクティビティ体験施設を検討する。
- ② 民間事業者の進出の可能性についてマーケティング調査を行う。
- ③ 民間事業者の誘致活動を実施し、誘致条件をクリアするための法的手続きなどの事業を必要に応じて市が実施することを検討する。

